

かわら版あおぼ消防通信 22号

平成 27 年 5 月発行：横浜市青葉消防署 協賛：青葉火災予防協会

減災対策 家庭防災員研修

5月末から、27年度の家庭防災員研修がスタートします。

家庭防災員研修とは

家庭防災員研修とは、防災に関する知識、技術を身につける研修で、家族を守るとともに、その知識や技術が隣近所に伝わり、地域の「防災力」の向上につなげていくことを目的としています。

【研修内容】

- ①防火研修 ②地震風水害研修ⅠⅡ
- ③地震風水害研修Ⅲ(DIG) ④救急研修

※4種類の研修を各一回受講します。

【過去の研修受講者の声】

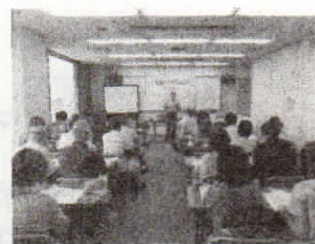
- ・今まで関心のなかった防災や救急ですが、色々なことが学べて大変役に立った。
 - ・学んだ知識を活かしていきたい。
- (積極的な声が多数寄せられています!!)

【家庭防災員の活動】

研修を受講した家庭防災員は、地域での消防訓練などに参加し地域防災の担い手となることが期待されています。



①屋内消火栓の取扱(実技)



②地震等についての講義(座学)



③災害図上訓練(実技)



④心肺蘇生法訓練(実技)

防火対策 最近の火災傾向・廃棄消火器はリサイクル

(火災傾向)

- ・市内の火災件数は前年と比べて減少傾向にありますが、青葉区では例年並みとなっています。(現在18件)
- ・原因は、たばこが1位、2位がストーブ。「その他」の原因も多くなっています。
- ・「その他」の内訳
子どもの火遊び、ろうそく、たき火の拡大 等

(古い消火器はリサイクル)

(概要)

- ① 古い消火器をそのまま放置していると、事故につながる場合があります。
- ② 腐食が進んだもの、凹みや変形があるものは絶対に使用しないでください。

(リサイクル)

- ① 古くなった消火器はリサイクルすることになっています。
- ② 消火器は、粗大ゴミとして廃棄することはできません。
- ③ 消火器のリサイクルは販売店等に依頼するか、下記までお問い合わせください。

(問合せ先) 消火器リサイクル推進センター 03(5829)6773



予防救急 熱中症対策

真夏日や梅雨の季節を迎えるにあたり、熱中症に対する注意をお願いします。

(熱中症とは)

「熱中症」とは、暑さや熱によって、体の中の水分や塩分が失われたり、体温が上昇したりすることで起きる障害のことです。吐き気、めまい、たちくらみ、こむら返り、大量の発汗といった症状がおこります。また、体のだるさや、手や足の筋肉の痛みを伴ったけいれんも典型的な症状です。



(予防のポイント)

- のどが渇く前に、こまめに水分を補給する。
- 運動などで多く汗をかく人は、塩分も補給する。(市販の経口補水液、スポーツドリンクなどが有効)
- 暑いときは、エアコン、扇風機をつける。シャワーを浴びるなどして、体を涼しくする。
- 体調が悪いときは、近くにいる人、友人や家族などに、すぐ相談する。
- 外出の際は体をしめつけない涼しい服装で、日よけ対策もする。
- 無理をせず、適度に休憩をとる。
- 日頃から栄養バランスの良い食事と体力づくりを心がける。

(応急処置)

- 意識がない、もうろうとしているなどの症状がある場合は、すぐに救急車を要請する。
- 涼しい場所へ移動し、衣服を緩め、安静に寝かせる
- エアコンをつける、扇風機・うちわなどで風をあて、体を冷やす。
- タオルを巻いた氷袋などで脇の下・太もものつけねなどを冷やす。
- 飲めるようであれば、少しずつ回数を分けて水を飲ませる。

(資料)「熱中症対策」総務省消防庁 HP より

青葉消防団の主な活動予定(5月・6月)

【訓練等】

- 5/16(土) 幹部研修 (青葉消防署)
- 5/24(日) 上級救命講習 (//)
- 5/30(土) コンプライアンス研修 (南公会堂)
- 5/31(日) 班長研修 (青葉消防署)

【会議】

- 5/20(水) 分団長会議 (青葉消防署)

無防備な 心に火災が かくれんぼ

～平成 27 年度全国統一防火標語～